

▼CNCP プロジェクト

第3回インフラマネジメントテクノロジー
コンテスト 2022 を終えて

インフラテクコン運営事務局
アイセイ株式会社 総務経理部 FM 推進室
岡野 登美子



2023年2月24日（金）3331 Arts Chiyodaにて、[第3回]インフラマネジメントテクノロジーコンテスト2022（以下インフラテクコン2022）の交流会が行われました。来場者147名、YouTube視聴者数232名とたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

インフラテクコンは高専生を対象にしたインフラの課題を解決するためのアイデアコンテストとして、2020年より始まりました。表彰式を兼ねた交流会を毎年度開催してきましたが、コロナの影響で2020年度では学生はオンライン参加、2021年度も学生のリアル参加は少数でした。2022年度になり11チーム・42名もの学生・メンバー教員が来場し、各チーム間や企業・団体と交流を深めることができました。



交流会参加者の全体写真

午前中はステージにおいて、来場したチームの学生たちから、インフラの課題と捉えた意図や、課題を解決するアイデアについてのプレゼンが行われました。それに対し審査員からの講評のほか、会場からもするどい質問が寄せられ、学生が一生懸命にこたえる姿が印象的でした。

会場内には来場した各チームのブースが並び、作品で使用した模型や紹介動画を展示するチームもありました。プラチナパートナー希望者によるブースでは、VRを使用するなどインフラに関わる現場をわかりやすく紹介。学生と大人たちが楽しく交流する姿をたくさん見ることができました。

また、呉高専出身の漫才師「元気丸」が会場に乱入(?)し、インフラ漫才を披露。高専ネタや土木ギャグが飛び出し、会場を和ませてくれました。

午後からは会場の配置を変えて、表彰式を行いました。

グランプリを取った、砂防 with 折り紙（福井高専）のリーダー寺前さんは「インフラテクコンで学んだことが2つあります。1つ目は継続して物事を行うことの大切さです。毎日一つずつ新しいことを学んでいって、やっと大きなことが成し遂げられるということを学びました。もう1つはチームの仲間の大切さです。偶然の出会いから、このような素晴らしい賞をいただくことができ、とても驚きと満足感と充実感に満ちています。今回はありがとうございました」とコメントしました。同作品に対して審査委員会では「折り紙の技法を取り入れた独創的な発想と、これまでインフラテクコンに挑戦してきた経験が融合された提案となっていました。また、プレゼンの構成力、表現力は非常に高いレベルでした。技術提案にいたるまでの仲間や先輩卒業生とのチーム結成のストーリーも大変良かったと思います」と講評されています。



ブース交流の様子

本選の表彰の後は、インフラテクコン 2022 より新設された「わくわく賞」を発表しました。インフラに関心がある個人ならだれでも参加できる「わくわく応援隊」の投票で決まる賞で、言ってみれば「みんなで選ぶ賞」です。初の「わくわく賞」には大畑・早坂 Lab の「ドローン画像を用いた橋梁点検支援システムの開発！」が選ばれました。

また、プラチナ協賛企業の各団体が選ぶプラチナ賞の発表と授与も行われました。

最後に副実行委員長より、関係者への謝辞とともに[第 4 回]インフラテクコン 2023 の開催が発表され、2022 年度の交流会は成功裏に閉会しました。

インフラテクコン 2023 は 5 月 16 日よりエントリーを開始し、10 月 20 日より作品公開、12 月 22 日に結果発表となります。今年度も学生たちの柔軟なアイデアにご期待ください！ そしてお知り合いの高専生、高専教授にぜひぜひ宣伝をお願いいたします。

■[第 3 回]インフラテクコン 2022 結果

NO.	チーム名	提案名	高専名	提案の略意	審査結果	プラチナ賞 14 団体より 35 本
1	大畑・早坂 Lab	ドローン画像を用いた橋梁点検支援システムの開発！	豊田	AI を用いて高精度に橋梁劣化度を判定できるシステムを開発	自由枠参加 わくわく賞	・チャレンジ賞 (古河電気工業株式会社) ・日本管財賞 ・日本技術士会賞 ・熊谷組賞
2	もとす防衛隊	公園整備を間伐材で！一石十鳥！？	岐阜	間伐材を利用した公園整備によって地球を守る！	一次通過	・これからもインフラを愛シマ賞(佐藤工業株式会社) ・ガイアート賞
3	最先端テクノロジー同好会	きゃどたす -CAD 技術習得支援システム-	旭川	CAD の技術習得を補助するシステム	自由枠参加	・奥村組賞
4	オイスター☆ディザスター	牡蠣殻の可能性を信じる	呉	牡蠣殻を用いた平常時・災害時の下水処理とアクアポニックス	SDGs 賞	・フソウ賞 ・GKP 賞(下水道広報プラットフォーム) ・日本技術士会賞
5	チームぼんぼんきち 2.0	上下水道 3D プラットフォームから始める「スマート・ライフライン」	旭川	上下水道管を含んだ地中インフラの可視化・DX 化	準グランプリ	・フソウ賞 ・NEXCO 東日本賞 ・GKP 大賞(下水道広報プラットフォーム) ・日本技術士会賞
6	オラにチカラを分けてくれ〜！	ジム発電	香川	筋トレで電気エネルギーを生み出す、ただそれだけである	一次敗退	
7	TM.KASSY	ハイちゃんつながんです	石川	災害や空き家からの廃材、間伐材で簡易インフラ復旧の検討	地域賞	・これからもインフラを愛シマ賞(佐藤工業株式会社) ・NEXCO 東日本賞 ・日本橋梁協会賞
8	Kisara`s	インフラの擬人化	木更津	インフラの擬人化で多くの人にインフラの興味を持ってもらう。	一次敗退	・経済調査会「建設マネジメント技術賞」
9	JAM	いつでもそくりょうだいさくせん！	明石	LiDAR と人工知能を用いた新たな舗装面管理システムの導入	一次敗退	

10	Plus Ultra	ニューラルネットワークを用いた水質の異常感知システムの導入	明石	機械学習による画像分析を基にした水質の異常感知システムの導入	一次敗退	・ 水土技術研究所賞
11	KCCT	ブラズマアクチュエータによる鉄道車両走行時の燃費向上	神戸	安価でコンパクトなブラズマアクチュエータで鉄道車両の燃費向上	一次通過	・ JR 東日本鉄道賞:もうちょっとで賞
12	砂防 with 折紙	日本最古の透過型砂防堰堤の発見と新しい遊水池の計画手法の提案	福井	日本最古の砂防ダムから折紙を用いた新しい地下貯水工法の提案	グランプリ	・ JR 東日本優秀賞:文句なしで賞
13	チームまつえ	上下水道みまもるさん～AIによる水道自動管理システム～	松江	上下水道管理の効率化を進めるために AI で管理の自動化を目指す	一次敗退	・ 水土技術研究所賞
14	スマートヒートポンプ	水力を使った冷暖房システムと冷蔵庫	福井	水流の運動エネルギーに対して5倍の熱エネルギーの活用	一次通過	・ これからもインフラを愛シマ賞 (佐藤工業株式会社) ・ ガイアート賞
15	Park っと! プロピュア	次世代の Co-縁 (公園)、その名もハコ-エン 	徳山	ピンチはチャンス! 電話ボックスがもたらす公園のイノベーション	チャレンジ賞	・ ガイアート賞
16	けんせつ野郎&小町	いつでも、どこでも、何度でも。～フラ Navi による現場見学のすゝめ～	徳山	地域のインフラ人材確保のための総合情報サイト～現場のチカラ～	地域賞	・ これからもインフラを愛シマ賞 (佐藤工業株式会社) ・ GKP 広報賞 (下水道広報プラットフォーム)
17	Be-Mice	はしおし!	長岡	インフラの仕事を知ってもらい技術者になる人を増やしたい。	地域賞	・ これからもインフラを愛シマ賞 (佐藤工業株式会社) ・ NEXCO 東日本賞 ・ 日本技術士会賞 ・ 熊谷組賞
18	acci	wateroson	長岡	水質管理を AI 技術を用いて行うことで、簡易化、安定化を測る。		・ 水土技術研究所賞
19	Geszon	「え、送料安くね!」「そりゃ、Geszon だから!？」	長岡	下水道を物流の幹線として利用することで、維持管理費を生み出す	チャレンジ賞	・ ガイアート賞 ・ 下水道広報プラットフォーム (GKP 賞) ・ JR 東日本アイデア賞:発想がスゴイで賞

※自由枠参加は一次審査で敗退したものの、最後まで作品を作成したチームとなります。

●インフラテクコン HP : <https://infratechcon.com/>

●わくわく応援隊 : <https://infratechcon.com/wakuwaku/>

インフラテクコンの趣旨に賛同していただける方、インフラマネジメントを盛り上げたい方、高専生を応援したい方、「わくわく応援隊」へのご参加お待ちしております。あなたの一票で「わくわく賞」が決まります!

※2023年5月中旬から申込開始予定

※今年度より参加費 500 円をいただきます。